

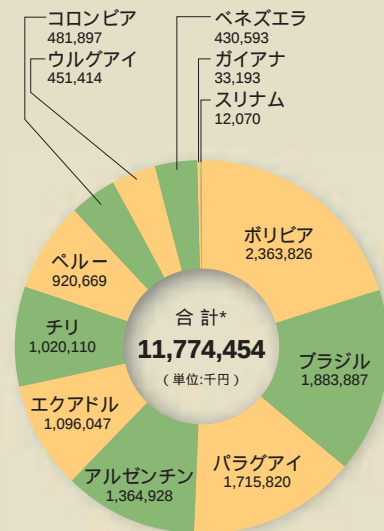
南米

South America



援助の柱 格差是正に向けた開発を支援

■ 各国への協力実績（2004年度）



* グラフ掲載国の実績合計額

南米地域では、民主政治が定着し、公営事業の民営化や貿易自由化に向けた動きが進んでいます。また、歴史・文化・言語・社会背景など多くを共有し、域内協力や経済統合への動きも活発です。しかし、域内には比較的高い経済水準を達成している国々(中進国)と低い水準の国々(貧困国)が混在しています。同時に、中進国も国内に局所的な貧困問題を抱えており、順調な経済成長に反して貧困層が拡大しています。このような貧困問題は、政治・経済の不安定化と麻薬・治安などの社会問題や環境問題を引き起こす要因となっています。「人間の安全保障」の観点からみても、その解決は各国政府の優先課題であり、国際的な支援が必要です。

南米地域が保有する天然資源、食糧

供給力、経済規模は大きく、この地域の政治・経済が混乱したり、環境破壊が進行したりすると、世界経済や地球環境にも影響が及ぶ可能性があります。

JICAは南米地域に対して、各国内の国内格差と国家間の格差を是正し、また持続可能な開発を実現するため、「人間の安全保障」の視点を重視して、以下の重点課題に取り組んでいます。

格差是正をめざした貧困対策への支援
投資環境整備と貿易振興策への支援
環境問題への対応
資源の適正管理、食糧生産力維持・向上への支援
地域統合化への対応と域内協力の促進
日系人社会との積極的な連携

開発の現況

経済成長の一方で貧困層が増加.....

南米地域は、植民地支配に端を発し、歴史的に社会格差が著しい地域です。1980年代にはIMF(国際通貨基金)や世界銀行の主導で、新経済自由主義政策による経済改革が推進されました。この結果、経済成長を遂げる一方で、多くの国々で格差の拡大、貧困層の増加、社会不安の増大などの問題が深刻化しました。

南米諸国の経済は一次産品に大幅に依存しており、世界経済の動向に著しく左右されてきました。持続的に安定した経済成長を遂げていくためには、中小企業振興を含む投資環境整備や貿易振興策などへの支援が必要となっています。

貧困問題と経済成長が引き起こしている問題の1つに環境問題があります。都市部周辺の貧民

街からの廃棄物や水源地汚染への対応、また、アマゾン地域で急速に進む森林破壊など地球規模の問題への対応が急がれます。

資源と食糧を海外に依存している日本にとって、豊富



「母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化計画」(ボリビア)

チリの内陸乾燥地域で小規模農家への支援を展開。地元農家を対象にした温室栽培技術研修



な資源とさらに拡大しうる食糧生産供給力をもつ南米経済圏はきわめて重要な存在です。他方で、一次産品の輸出に依存する経済からの脱却をめざす南米諸国は、日本の技術を必要としています。このように日本と南米は、経済的な補完関係にあるといっても過言ではありません。

メルコスール(南米南部共同市場)は、2003年12月にはアンデス共同体とFTA(自由貿易協定)を結び、また、インド、EUなどの域外諸国や共同体とも同様の交渉をしています。域内での技術協力事業(南南協力)も活発です。

移住者・日系人の存在

南米への協力を考えるとき、移住者・日系人社会の存在は欠かせません。南米への日本人移住は100年を超える歴史があり、移住者・日系人は現地地域社会の

一員として、揺るぎない地位を確立しています。日系人は農業、保健医療、教育など各方面で活躍し、親日感情の醸成と日本と移住先国との友好関係の構築に大きく貢献しています。

重点課題と取り組み

貧困対策への支援

南米地域では、格差是正・貧困問題に対して、政府や地方自治体のみならず、市民団体との連携を重視して支援しています。

- ・ボリビア：母子保健に焦点を当てた地域保健ネットワーク強化計画
- ・エクアドル：シエラ南部地域生産活性化・貧困削減計画調査

投資環境の整備と貿易振興策

域内外との交易と投資の促進に貢献するため、経済開発、産業振興、地域開発調査、インフラ整備などに関する調査(マスタープラン作成、フィージビリティ調査)を支援するほか、人材育成に向けて専門家などが日本の知識・技術を移転しています。

- ・ベネズエラ：中小企業向け経営コンサルタント登録・育成制度支援
- ・パラグアイ：中小企業活性化のための指導者育成計画

環境問題への対応

都市部における大気汚染・水質汚濁・廃棄物処理問

題や、アマゾン地域やガラパゴス諸島での生物多様性や森林保全への協力などに取り組んでいます。

- ・ブラジル：東部アマゾン森林保全・環境教育計画など
- ・エクアドル：ガラパゴス諸島海洋環境保全計画

資源の適正管理、食糧生産力の維持向上

南米地域の豊富な鉱物資源の調査・探査に協力し、鉱山公害対策を支援してきました。

また、食糧生産力を維持し、向上させるために、南米地域の持続的農業開発に向けた協力事業を展開しています。

- ・ボリビア：鉱山環境研究センター
- ・ブラジル：トカンチンス州小規模農家農業技術普及システム強化計画

地域統合への対応と域内協力の促進

活動を活発化しているメルコスールに対して、以下の広域的な協力を開始しました。

- ・域内産品流通のための包装技術向上計画調査
- ・観光振興計画

また、域内における、いわゆる南南協力への支援で



内戦で疲弊した国内農業を復興するため、青年海外協力隊員が提唱した「平和の種まき」プロジェクトに参加した中高生(コロンビア)

リハビリテーションサービス向上のために協力する専門家(チリ・身体障害者リハビリテーションプロジェクト) 撮影：野町和嘉



は、チリ、アルゼンチン、ブラジルの3カ国とパートナーシップ・プログラム(Partnership Program: PP)を締結しました。域内はもとより、アフリカなど域外の国も対象に、次のような協力を展開しています。

- JCPP(チリとのPP): キューバ水産養殖、ボリビア家畜衛生
- PPJA(アルゼンチンとのPP): パラグアイ・ボリビア家畜衛生、人口統計
- JBPP(ブラジルとのPP): 熱帯果樹・キャッサバ栽培

培技術、公衆衛生(ポルトガル語圏アフリカ諸国と東ティモールを対象)

日系人社会との連携

ブラジルに住む日系人技術者を域内他国に派遣するなど、日系人社会と連携した事業を実施しています。日系人社会は南米各地で地域の模範となる活動を実施しており、今後とも連携を強化していきます。

Front Line ブラジル・アマゾン地域保健強化プロジェクト

アマゾンを守る「森の番人」の健康を改善

「大海に浮かぶ小島」のようなコミュニティ

プロジェクト活動地であるマニコレ市はブラジルのアマゾン地方、アマゾナス州にあります。アマゾンの森を海にたとえると、マニコレ市は大海に浮かぶ小島。川沿いに点在する遠隔地コミュニティから市街地へ、その交通手段は船しかありません。九州ほどの面積に4万人の人口といえば、人口密度の希薄さがわかりいただけるかと思えます。

このとてつもなく広く、交通の不便な地域で保健状況を改善するには、コミュニティの住民自身が保健知識をもち、病気の予防と健康の保持に努めるしかありません。病気の患者を船に寄せ、市街地まで運ぶのに一晩二晩がかりという遠隔地がたくさんあるのです。マニコレでは、「治療より予防」が最優先です。

「コミュニティ・ヘルスワーカー」の能力とモチベーションを強化

プロジェクトが目指したのは、ブラジルの「コミュニティ・ヘルスワーカー」という制度でした。彼らは看護師などの専門職ではなく、一般の住民です。JICAは、日本のNPOであるHANDS(Health And Development Service do Brasil)およびマニコレ市保健局と共同で、コミュニティ・ヘルスワーカーへのトレーニング、家庭訪問への同行指導、他の地元NGOや住民組織との協働推進などを通して、コミュニティ・ヘルスワーカーの能力とモチベーションの強化を支援しています。保健に関するトレーニングを受け、妊産婦、小児、高血圧などの慢性病患者への保健指導などを行うなかで、コミュニティ・ヘルスワーカーの意欲や士気も高まってきました。

環境保護が話題になるアマゾンです

が、実際にそこに生きる人々と接すると、自然と共存できる「持続可能な開発」のためには、現にそこで生活している人々の健康状態を改善する地道な取り組みが欠かせないと痛感します。「森の恵み」を受けて生活する小規模なコミュニティのあるところで、無謀な開発は行えません。そういった意味では、彼らは人類全体のために、貴重なアマゾンを守る「森の番人」の役割を果たしてくれているのです。

(ブラジル事務所)



歯磨き指導のデモンストレーション